

「アバター」シリーズ

サム・ワーシントン × 『マッドマックス 怒りのデス・ロード』のスタッフ 豪華チームで仕掛けるハード・アクション!

監督・脚本を務めるのはオーストラリアが誇る俳優・作家のマット・ネイブル。書き手としてはスリラー小説『Still』が本国でベストセラーを記録、演じ手としては『キラー・エリート』でロバート・デ・ニーロやジェイソン・ステイサム、『リディック:ギャラクシー・バトル』でヴァン・ディーゼルら大物たちとの共演を重ねるなど、マルチな才能を持つ彼のこれまでのキャリアの集大成として長編初監督を務めた本作。作家としての実力を遺憾なく発揮した緊張感溢れるストーリー・テリングと、『マッドマックス 怒りのデス・ロード』のスタントマン ボール・ドイルらによる迫力のアクションを融合させ、かつてないエンタメ作品を創り上げた。そして、主演を務めるのはジェームズ・キャメロン監督が手掛ける大ヒット作品『アバター』シリーズ主演俳優のサム・ワーシントン。『さよなら、アドルフ』のケイト・ショートランド監督によるカンヌ国際映画祭出品作『15歳のダイアリー』で2004年にオーストラリア映画協会賞の主演男優賞を獲得して以降、『ターミネーター 4』や『タイタンの戦い』、『ハクソー・リッジ』など超大作への出演を通して大躍進を遂げた実力派俳優。本作では、これまでのイメージを覆す長髪の姿を披露し、妻の死や息子との関係修復に葛藤しながらも、家族を守るために容赦なき死闘に身を投じていく元特殊部隊員を、圧倒的な熱量と確かな説得力を以て演じきった。



愛する人を守るため 元特殊部隊員は再び銃を手に取る

最愛の妻に先立たれ、喪失感に沈む元特殊部隊員のライアン。幼い息子のビリーを男手一つで育てるために退役せざるを得なかった彼は、誇り高き軍人としてのアイデンティティを失い、定職にもつげず退廃的な生活を送っていた。一方のビリーは、そんな父親からの愛を感じることが出来ずに孤独を覚え、内気でトラブルを起こしやすい性格に育ってしまうのであった。ある日、ライアンは特殊部隊員時代の同僚、ジョニーと再会し、彼が戦闘能力を生かし裏稼業に手を染めて金を稼いでいることを知る。ジョニーから仕事へ誘われて一度は断るライアンだが、生活を立て直し息子との関係を再生するにはどうしても金が必要であると思い直し、これを承諾してしまう。しかしこの決断が最悪の事態を引き起こすことになることは、この時のライアンは知る由もないのであった…。



STAFF & CAST | 監督・脚本: マット・ネイブル 撮影: シェリー・ファーゾング=ドゥ 出演: サム・ワーシントン、マット・ネイブル、フィービー・トキン
2023年 / オーストラリア / 英語 / シネスコ / 5.1ch / 105分 / 原題: TRANSFUSION / 字幕翻訳: 各務みち子 / 配給: クロックワークス SLOK MOBY © 2022 Yensir Holdings Pty Ltd and Stan Entertainment Pty Ltd



5.10 | FRI | **ROADSHOW**